

氏名	柿 崎 敏 雄		
学 位 の 種 類	医 学 博 士		
学 位 授 与 番 号	乙 第 5 1 7 号		
学 位 授 与 の 日 付	昭和47年 9 月30日		
学 位 授 与 の 要 件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)		
学 位 論 文 題 目	Studies on Stress Response during Mental Task (精神作業によるストレス反応に関する研究)		
論 文 審 査 委 員	教授 大 月 三 郎	教授 大 平 昌 彦	教授 高 坂 睦 年

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

精神労働がストレスとなって、種々の健康障害を誘発するとよくいわれているが、ストレス時に起る生理的現象ははっきりしていない。

本論文は、情緒的ストレスとして兎に電気刺激を、ヒトに計算作業を負荷してストレス指標の有用性を検討し、さらにストレス反応をひきおこす作業条件（時間、密度、難易）について検索した実験に関するものである。

電気刺激では22の血中ストレス関連指標のうち、7指標に変化がみられた。計算作業では指標の変動は作業条件に大きく左右されるが、作業時間は実験した1時間程度では影響をおよぼさないことがわかった。作業の密度と難易はともに指標変動の要因になると思われたが、比較実験の結果、主因は作業密度の増大で、難易にはかわりないことが明らかになった。このような精神作業によるストレス反応の指標としては、結局拡張期血圧値（上昇）、血清たんぱく量（増加）および血清水分量（減少）が特に有用であることが確認された。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、精神作業によるストレス反応の指標として有用な血液系の検査項目を定め、これら指標の変動には特に作業密度の増大が要因となることを明らかにし、精神作業時の生理現象に関して重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。